

第4次交差点すいすいプラン(案)【概要】

1. 計画の概要

道路幅員の狭い片側一車線の道路における交差点で、交差点直近の比較的短い区間の土地を取得し、右折車線等を整備することで、右折待ち車両による渋滞を緩和し、円滑な交通を確保することを目的とした事業の計画

- ◇ 計画期間：令和7年度～令和16年度
- ◇ 整備箇所：56箇所（多摩地域52箇所、区部4箇所）
- ◇ 総事業費：318億円

◇ 第1次～第3次プランにおける完成又は一部完成*箇所 118箇所

*一部完成：暫定整備により整備効果が発現した状態

2. 渋滞状況の把握

都内の渋滞状況を把握するため、客観的な交通情報（プローブ情報*）などを活用し、交通状況の実態調査を実施

- ◇ プローブ情報より渋滞が発生している区間の交差点
- ◇ 交通管理者等から挙げられた渋滞している交差点



周辺道路の整備状況の変化や、他事業の実施予定の有無、片側一車線で右折車線なし等の信号交差点を抽出

交通状況の実態調査を実施（通過時間や渋滞原因などの確認）

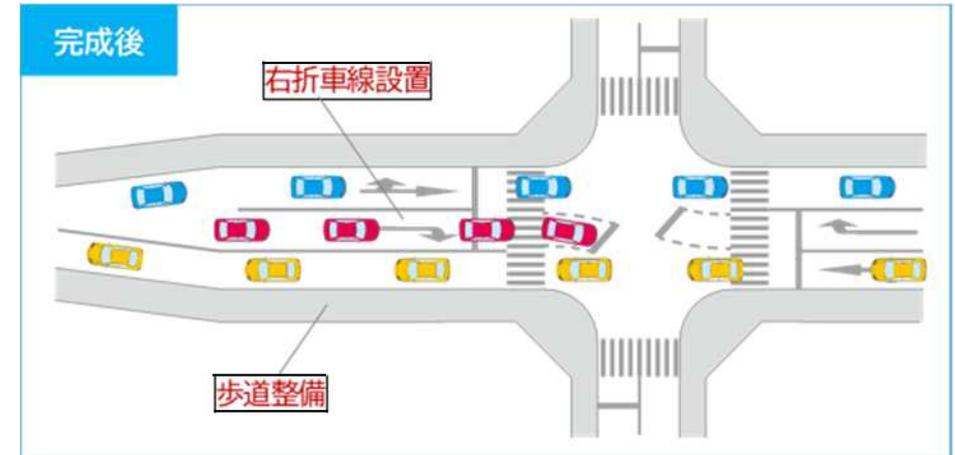
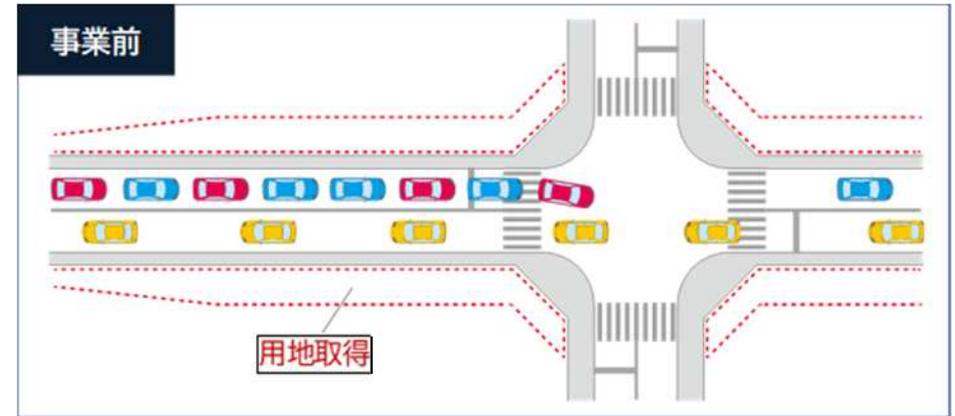
*プローブ情報：カーナビなどの車載器に位置、時刻、速度、方向等の走行データを記録し集約した情報

3. 整備箇所の選定

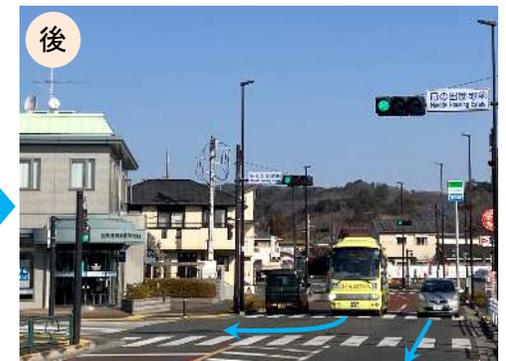
- 第3次プランにおいて、事業実施中の交差点は継続
- 実態調査を実施した箇所のうち、次の条件に基づき選定

◇ 交差点を通過する時間が2分以上の交差点

◇ 整備箇所56箇所：事業中箇所31箇所、事業予定箇所25箇所



[整備効果の事例] 日の出団地前交差点（日の出町 一般都道185号 山田平井線(山田通り)）
令和3年度完成



最大通過時間の短縮： 2分32秒 ⇒ 33秒